

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【公表番号】特表2015-516570(P2015-516570A)  
 【公表日】平成27年6月11日 (2015.6.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-038  
 【出願番号】特願2015-505675(P2015-505675)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

G 0 1 N 21/65 (2006.01)

G 0 1 N 21/359 (2014.01)

【 F I 】

G 0 1 N 27/62 D

G 0 1 N 21/65

G 0 1 N 21/359

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月4日 (2016.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 2 2 4 】

% 特性確率密度関数の選択 %

特性確率密度関数に対してループする

累積確率密度関数を生成する

ループ終了

分離株に対してループする

特性 / 分離株の識別表に従って、分離株についての特性「ネイティブ」を選択する

「ネイティブ」の特性に対してループする

「その他」の特性に対してループする

ネイティブの特性及びその他の特性の各組み合わせに対してコルモゴロフ - スミルノフ統計量を決定して保存する

ループ終了

各「ネイティブ」の特性に対する最小コルモゴロフ - スミルノフ統計量を決定して、minKSとして保存する

ループ終了

最大minKSを有するN個（ユーザーによって指定される数であるが、少なくとも1つである）の特性を選択する

各分離株において特性選択を保存する

ループ終了

%%%%%%%%%

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 0 】

本発明による好ましい実施形態では、少なくとも１つの量は、基準クラスの特徴的なスペクトル特性に基づいて選択される。この内容は請求項６に対応する点を留意されたい。